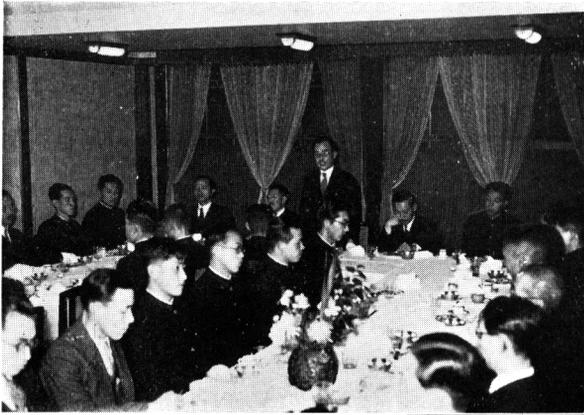


早稻田應用化學會
第13卷第3冊第28號別冊

目 次

- (1) 昭和10年度會務報告
- (2) 教室消息
- (3) 研究費の補助
- (4) 會員消息
- (5) 教室備付圖書
- (6) 特許公報購入に就て
- (7) 住所及勤務先移動
- (8) 應用化學科教室新築記念號發行豫告
- (9) 編輯室より



藤木先生送別會



新人會員歡迎會に於ける
小林先生の御挨拶



新人會員歡迎會に
於ける會員の自己紹介



ライオン石險平井工場見學の際（二學年）

(1) 昭和 10 年度會務報告

(昭和 11 年 5 月 1 日役員會報告)

會 合

1. 役員會 1回 昭和10年 4 月26日 出席者23名
2. 例 會 4回
 昭和10年 6 月 6 日「混合溶劑に就て」
 早大助教授 山口 榮一氏 出席者39名
 昭和10年 7 月 8 日「滿鮮地方旅行談」
 貴族院議員 肝付 兼英氏 44名
 昭和10年10月 4 日「北海道見學旅行談」
 早大教授 小栗 捨藏氏 46名
 昭和10年11月 6 日「最近の感光劑に就いて」
 オリエンタル寫 眞工業株式會社 宮本 五郎氏 62名
3. 新入會員歡迎會
 昭和10年 5 月 6 日 出席者 102名
4. 藤木先生送別會
 昭和10年12月 6 日 出席者 69名
5. 卒業生卒業祝賀會
 昭和10年 2 月 6 日 出席者 95名

會員增減

昭和11年 4 月入學者入會 38名増

會員數

	昭和9年 4 月末	昭和10年 4 月末	昭和11年 4 月末
講師會員	9(内卒業生4)	5	5
卒業生會員	259	238	316
學生會員	105	105	115
有志會員	2	2	2
合計	371	400	438

會報發行

第 25 號 昭和 10 年 6 月 30 日
 第 26 號 昭和 11 年 1 月 25 日

昭和 10 年度會計報告

(自昭和10年4月1日至 昭和11年3月31日)

昭和 11 年 5 月 1 日役員會報告

摘 要 借 方 貸 方

收入之部
 講師、卒業生、學生會員會費 1,461.00

廣 告 料 金	97.00
第 16 回 卒 業 生 寄 附 金	40.00
預 金 利 子	94.54
合 計	1,692.54

支 出 之 部

會 報 印 刷 費 (2 回 分)	394.40
會 報 發 送 費 通 信 費 振 替 手 數 料	117.44
例 會、役 員 會、新 入 會 員 歡 迎 會、卒 業 生 卒 業 祝 賀 會 補 助 費	151.00
近 藤 先 生 勤 續 25 周 年 記 念 祝 賀 會 寄 附 金	22.50
藤 木 先 生 退 職 記 念 品 費 用 並 送 別 會 補 助 費	60.82
小 林 先 生 選 賢 祝 賀 會 補 助 費	83.02
理 工 學 會 經 常 費、同 會 員 名 簿 代、同 大 會 補 助 費	161.90
圖 書 購 入 費、製 本 代	156.48
事 務 謝 禮	15.00
香 典、文 具 費、雜 費	36.77
當 期 收 入 超 過 金	493.21
合 計	1,692.54

貸 借 對 照 表

昭和 11 年 3 月 31 日現在

借方(資産)	科 目	貸方(負債)
1,599.19	郵 便 貯 金	
67.39	振 替 貯 金	
74.45	現 金	
50.00	書 籍、雜 誌 及 什 器	
2,031.90	三 菱 信 託 預 金 現 在 高 特 別 寄 附 積 立 金 (小 林 先 生 寄 附 金)	
500.00	前 期 繰 越 金	3,329.72
	當 期 收 入 超 過 金	493.21
	小 林 先 生 特 志 寄 附 金	500.00
4,322.93	合 計	4,322.93

財 產 目 録

昭和 11 年 3 月 31 日現在

貸借對照表の借方に同じ
 以上の通り相違無之候也

昭和 11 年 4 月 1 日

早稻田應用化學會會計委員 山本 研一◎
 磯野 好治◎
 宮田 隆吉◎

上記會計報告相違無之候也

監 事 竹 内 榮 次◎

昭和10年度理工學會收支決算書

昭和11年5月

収入ノ部	
1,800.55	總收入
内 譯	
223.41	昭和9年度より繰越金
410.00	理工學部大會補助各分會負擔
120.00	經常費として各分會より收納
1,047.14	名簿代として各分會より收納
支出の部	
1,800.55	總支出
内 譯	
21.51	定期協議員會夕食代 (10年5月23日)
23.95	臨時協議員會夕食代 (10年10月3日)
600.00	理工學部大會に補助
1,047.14	大日本印刷支拂名簿代
108.41	昭和11年度へ繰越金

(2) 教室消息

教室の各先生は頗る御元氣です。富井先生と秋山先生は4月下旬富山市に開かれた電氣化學協會大會に出席せられました。秋山先生は「磷酸礬土鑛より磷及びアルミナを採取する一新法に就て」と題して御講演せられました。山本先生の粘土に関する御研究は益々盛で今度は大日本窯業協會に於て「粘土類の酸及びアルカリに對する溶解度に就て」の題で御講演されました。小栗先生も工業化學會の5月の常會に於て「氷熱量計を利用せる纖維素の吸濕熱の測定」と題し御講演をなさいました。山ノ内先生も御元氣で久し振りで理工學部講話會で「水分の定量に就て」と題し平素の御研究を發表せられました。今夏見學旅行は關西班は北陸を廻つて行くさうで宇野先生が引率せられて行くことになり、北海道班は武富先生が御引率になり7月13.4日頃御出發の由です。

漸次學生數が増加する傾向がありますので今年度から各學年の實驗に助手を1人宛配置して授業の完全を期する事になり實施されて居ります。第14回卒業生の佐藤良順君は宇野先生の所で研究に従事することになりました。宇野先生は5月に目出度く第二男子御出生の由、御健康を祈ります。

(3) 研究費の補助

秋山先生は今回旭化學獎勵會より下記の如く研究費の援助を受けられました。御研究の益々御盛なる事を御祈りする次第であります。

「アルミナセメントの製造に関する研究」

補助金額 金壹千圓也 (昭和11年度分)

(4) 會員消息

青鈴會 (第2回卒業生)

昭和11年5月5日、肝付君の内務參與官就任祝賀會を上野、不忍也半の雨月世に開く、時節西極めて内輪の集りとし吾々級友及教室有志並に卒業生有志相集り肝付君を中心に歡談す。集る級友は稻田美馬、中澤、山本(泰)、山本(研)の諸君。教室及卒業生側としては小林先生、小栗、山口、秋山の諸先生並に福島信之助君の合計12名。久し振りに教室の諸先生と會談し、學校の話、會社の話、等々盡きず。9時散會し、參與官の車に送られて級友のみ再び銀座に向ひ12時散會す。(山本記)

第8回の動靜

怠け者の集りの我々8名は好都合に東西に4人宛分裂して存在して居る。東でも寄らずに居るが、西でも集らずに居るらしい。皆が生活するに多忙だからだと思つて居る。此の欄にも長らく御無沙汰した、御詫旁々筆を執る。諸兄に近況を年に1回位は通信されん事を願ふ。住所變更の報告位は怠らずにしてほしい。妄言を謝す。

元木君：特許輕クリート工業株式會社の創設で多忙だつたが、目下は經營に忙しい様だ。輕クリートと云ふセメントモルタルを多孔質に膨らして硬化させた建築材料を製造してゐる。吸音、保温、防熱を目的とした材料だ。使つて欲しい。提灯持如斯。

有竹君：黙々として商工獎勵館に巢ごもつてゐる
神谷君：健在らしい。時には6日會に現れるのだらうと思ふ。

増井君：元氣旺盛で活動の様に、先般元木君が下阪の節會つて報告

中田：森川君：江崎君：様子不明。皆多忙なんだらう。

高木君：建築の現場勤務も終了したらしく、内勤で設計部に鞍がえして當今文筆労働者として公私共に忙しい。時々コンクリートの強度試験の用件で學

校に現れて御手数をかけてゐる (NON 11.6.4)

ル ツ ボ 會 消 息

今度から雑誌が年4回定期的に發行するさうで各位の消息もそれにつれ詳しく報告出来るかと思はれるので遠慮なく此の欄を利用したい。御厨君から先達手紙が来たが同君健在で居らしい。同君と同じ下關に居る牧君が社用で秋田の方に出張した歸りがけに學校に寄つた。30分位して忙がしいからと直ぐ歸つたが兎に角一寸でも學校へ顔を出して呉れて嬉しい。國崎君に先達工業大學の記念祭の折り逢つたが元氣で居る。同校の尾藤君も此頃は元氣よくやつて居る。同君は最近はX線の方をやつて居て大に氣焔が上つて居た。宮本君、竹内君は時々學校へ見えて居る。他の諸兄皆元氣の御様子、各位の時折の消息を知らせて欲しい。(秋山記)

第 10 回 十 化 會 消 息

石田氏は相變らず元氣で市川鉛筆に勤めて居られるが今度廣尾の家を拂つて大岡山の方に新居を構へられた、又仄聞する所によると最近御目度い話しが持上つて居るとの事吾等の擧げて喜びとする所。

石關氏は舊姓原田氏であるが先頃結婚され姓迄も變つた新婚の嬉しさと云つた所。

野田氏は暫く逗子に靜養されて居られたが健康も大體回復され先頃歸京、學校の方にも2度程顔を見せられた、多分今頃は完全に健康を取戻された事と思ふ。

朴氏は既に歸郷して石鹼其他を自營されて居るが1~2年程前一寸健康を害された様な事を耳にしたが最近健康になられて業に精進されて居る事と思ふ

武田裕雄氏は一時健康を害し在京専ら保養されて居つたが最近元氣を回復され、一時住居を大阪に移された、健康體になられた同氏が再び活躍される日も遠くはあるまい。

松本氏は最近一向學校に顔を見せられない、先日小生電車で青木先生に御會した時同氏の消息を聞き同氏の偉大なる體軀に相應しく頗る元氣でバームチャットに勤めて居られる事を聞き安心した。

此他の十化會の諸氏も昔健在で極めて順調なる歩みを續けて居られるので一々摘記するを略した。

(石川)

九 四 會 の た よ り

井上 都の空は淺間の煙に遮ぎられ

飛んで行くにも片道 15 圓也

エヂプトから來た鹽はシンキローに故國を偲ぶと聞けど

わびしいよ、伏木の海と都の彼人は
スカートを開けて立つて居る

畑山 渡船で會社に通へば

船着場で肥えた豚を迎へる

この豚にセーラー服を着せてウキウキさせたら

思ひ出したよ

土佐の娘はもう少しスナナリして居たよ

土井内 あんまり覗いちや嫌だよ

利光 机にうつぶせ見た夢は

試験管を唇にあてゝ演じたビスコース行進曲

細いスリットから流れ出たセロファンが
麗人のドレスになれと祈つた夢

エゲツないよ

尺八の孔でもあつたら這入りたいよ

荻布 オフイスで汗ばんだ肌をなめたら

初戀の様にショツパかつたよ

滿洲よ、滿洲の鹽よ

お前は俺にラツシユアワーで拾つたバラを想ひ出せとて

かくも多量に、かくも鹽辛いのか

川田 何時も足を西に向けて寝る私達

東には恩師、小林先生あれば

南には生活の糧、由良染料あれば

北には?

西に足をむけて寝るとどうしたことか北には
足をむけられない

横山 ミチよ、タンゴを踊らうよ

酔へないから足を踏む恐は無いよ

かきくどく術も忘れた

眞白なドレスの背の汚れは

いゝよ、僕が洗つてやるよ

米山 忠サンてば返事が無い、

花嫁さんでももらつたのかい

中野 英チャンてば……………

……………

村田 不在地主と人云へど、不在地主ぢやありません

地主が市ヶ谷に行つたあと

可愛、彼の子がお留守番

鼠に引かれちや可愛さう

夜遊びせずに歸りませう、歸つて勉強いたし

- ませう
- 上杉 兵隊さん、兵隊さんてばだらしが無い
不動の姿勢の最中も頬のエクボに思ひ出す
セメントのこと 人のこと
- 松田 きバ、とよきマ、はよきヤ、を生む
よきバ、はよきマ、ありて夜遊びを忘れ
よきマ、はよきヤ、ありてお土産を忘れず
よきヤ、よ、よきバ、となりしとき
よきマ、のよきバ、の如くなれ
- 藤木 茂チャンてばの組なれや
何と云つても知らん顔
- 青木 飛ばず鳴かずの3年か2年過してあと1年
嫁をとつてもとらんでも2年目あたりがケン
タイ期
- 十月給
佐藤 教室 ← 工場
一月給
- 佐々木 あんまり見つめちや嫌だわよ
- 由良 貢主演の若旦那、金語樓主演の兵隊さん
何方が似合ひと聞いたらば
ヒゲは貢に似てるけど、あとは云はぬが花ぢ
やろて
- 水科 彼に指導を受けしクラスメート十指に餘れど
恩を想はざるや忘れたるや
毛生薬をつくりて贈らんとするもの未だなし
- 島田 森の彼方のコーヒーに 幸すむと人の云ふ
あゝ我ひとり尋ねゆきて、涙さしぐみ歸り來
ぬ
森の彼方に尙遠く 幸すむと人は云ふ
- 茂呂 アートハ云ヘナイ、オレタチャワカイ

第3學年クラス消息

光陰箭の如し、我々も學校に入つたと思ふとすぐ三年と云ふ學生中で一番偉い人に成つて仕舞つた。この一番偉い我々の學生等の顔を今更の如く一人一人見ると流石に過去10有餘年間の學問の爲否試験の爲に思ひなしか小皺が2,3本増した様だ。この學生が後8ヶ月程で社會に出、未來の重役社長になる人物かと思ふと頼母しくなる。

只今は、小林先生及山内先生御指導の製造化學實驗に入つてをります。これから社會に出んとする、我々を登山に例へてみれば今は丁度目的の山麓に達し、トレイスしてある様なものでだ。其處で駄句一つ「今は只小林續く山の内」

いづれ時が來れば山上に達し下界を見下して「ヤホー」と誰しもが呼ぶことは疑ふ餘地もありません

近頃の下の実験室のニュースを一つ申し上げます、先づ實驗室に入り「右向ケ右」をいたしますと、ラフ、バランスが3臺ある。この處の壁をみると「天秤使用後は分銅を元の處へ置き下さい」とある。元の處に置かないと大森懲罰委員長の目が光る。罰金は次の様に取られる。初心者(?)1錢、前科者2犯まで5錢、3犯以上10錢罰金に處せられた者未だ1・2と云ふ好成绩は如何に小さなことに注意して實驗してゐるかがこの邊で御判りになることゝ思ひます。

今年も例年通り夏季の休を利用して見學を致したいと思ひ北海道、關西及九州の二つに分れ夫々見學を行ふ様に小林先生の御許を得ました、この爲時々實驗を休んで日程其他に付き協議してゐます、本紙を借り各地の先輩に宜しく御指導の程御願ひ申上ます。

9月より卒業論文に掛りますが今年は學生が43名と云ふ多數の爲これが割當に一寸困りましたがこれも難なくをさまり下記の如く各自先生に就かれ最後の磨きをかけることになりました。

小林教授 小村、石津、金子、棚橋、珠川、高山本助教授 中、宗方、矢部、秋山、宮田、平池
小栗教授 小倉、上條、中岡、日下部、坂口、東
富井教授 大西、進藤
武富教授 石川、西片、片桐、田中、山田、保田
百武

山ノ内助教授 池田、徳本、野崎、久喜、森、
山口助教授 矢田、古屋、筋、森下
宇野助教授 伊藤、大森、横山
秋山助教授 小川、乗松、的場、大久保、小松

以上の様な割當になり學位論文でも取るつもの理論的の人もあれば、パテントを取るつもの實際的の人も居るので來年の3月こそは刮目して待つべき時です、我々が日本化學工業界を海老茶色で塗りつぶすのもそう遠い將來のことではないと確信致します。(進藤記)

金子武二君。眞面目な點に於てはクラス第一と言つて良い。かうした人に有り勝ちな話せない惡堅い氣質の持主と誤解され易いが彼は決してさうした種類の人間ではなく實に朗らかな圓滿家である。そして學者氣質の人でなく良きエンヂニアである事を僕は認める。彼は將來如何なる方面で如何なる人物として活躍するか又どんな人生觀を體してどの様な精神發展を成すか級の人々の注目の的である。彼よ健在に而も良き社會人として社會に巢立たん事

を。

上條長一郎君。最も要領のよい人間です。「學校がなんだ俺の本當に活躍する場所は活社會である」といふ。君の言ふ事は一部はたしかであるが我々の活社會中には學校も存在してゐるのだ。學校は死物ではない。せめて1ヶ月續けて顔を見せて呉れ君の言ふ將來雄飛する人間は既に歴史上の人物では是からの社會に雄飛する人間ではない。敢て君に言ふ「意志を堅くもて」と。もし君に意志の強さがあれば君の前途は刮目して見るべきものがあらう。

片桐進君。八王子くんだりからのこのこ毎朝やつて来る人である。故に君は早起きらしい。同時に宵張りらしい。結局君は胃が弱いのである。クラス中一番顔色が悪いのも最もである。1日も早く晝食に御飯を食べるやうに切に君の自重を望む。

少し運動でもやつたら如何？。

シツクボーイ！ 頑張れ！

横山省吾君。一見物靜かな緑の濃い感じ易い人の様に見える。然し之は君の全てではない。一面直情經行的の所があり自己の決斷を價值あらしめん爲それを最後まで貫く。こゝに君の人間としての良さがある。又級一番の良き批判者でもある。君は言ふ「我々の級の者は皆若々しく實際張り切つてゐる。實驗もよくやる然しシンプルだね。も少し落付きがあつてほしい。深みが足りない様だ」と。さうだ僕もその點同感だよく云つて呉れた。

棚橋幹一君。面白くて悪気が無くて、元氣で頭の良き點でクラス切つての人気者である。ウイル・ロチャーズが世界のユーモリストであれば、彼は我々のユーモリストである。スポーツに對しては特に理解を持たれ、サッカーに於ける彼の手腕は吾々の良く知る所である。實驗室に於ける彼は實に崇高なる學徒で眞に實驗をエンヂョイして居る。羨ましい人だ。然し彼の缺點と云はふか美點と云はふか、少々精神消耗の氣味ある事だ。でもスマートなモダンボーイである君は將來ますます御奮闘されん事を望む

田中謹吾君。東北人の多くがさうである様に君も比較的無口で一見近付き難い人の様に見えますがつき合つて見ると仲々深みのある性格の持主です。明晰な頭腦と共に肉體的には豊富なエネルギーに恵まれスポーツマンとしては級隨一の萬能選手です。のみならず碁将棋麻雀等の室内遊戲に於ても先づ君の右に出づる者は殆んどないと云つても過言ではないと思ひます。實驗に於ても又君の手腕は實に素晴らしいものです。人が1日かゝる事を半日で片付けて

さつさと歸つてしまふと云ふ風です。さうかと思ふとノート等は實に綺麗で精密を極めて居ます。兎に角ギリシヤの彫刻を見る様な整つた顔立と哲學者の様に縮れた髪を持つた君は我級の特異な存在です。

珠川慶二君。あれ程の大きな人物で小さい事にはこだわらない性質であるのに何かか實驗は細かい。この事はクラスの中でもあまり右に出るものはあるまい。さうした所は實に僕の良きリーダーである。君は常に云つてゐる「實驗なんてあせつて數多くやつたつて仕方ない、それより數は少なくとも落ち着いてみつちり研究しながら時間を度外視した實驗でなければ本當の實驗は出来ない」と。そして君は例を示しながらいと親切に説明する。正に僕の短所を補つて僕をして共に本當の化學者たらしめんとして呉れる。かうした事は只に實驗のみではない。諸君の中で誰でも良い。君と一夜の行動を共にして御覽なさい。其の人は翌日から必ず君の大きな力に感謝せられずにはゐられないでせう。それ程君の人格は大きいのである。正に忠實な學生であると同時に立派な社會人である。君の他日や。見よ。君の將來を

高中順一君。廣島産の男だ彼は一見して人好きがする。どこにゐても直にその存在がわかる程朗かな大きい聲を出す。私はこの聲を聞くと實驗しながら思はず微笑んで来る。恐らく級の誰もが普通の人なら感ずる事だらう。彼は他の一面何かしらロマンチックな氣持と熱心な宗教心を持つたそれはそれは美しい心の持主だ。最も之は彼と個人的にしんみり話さねばわからぬが彼は又暇人である。之は僕が説明するより彼に聞いて見給へ。早寝早起も近頃の青年には全く珍らしい現象だ。毎朝數頁にわたる過去數年間の彼獨特の人生觀日誌もちよつと驚嘆せざるを得ない。要するに荒削りの男らしい外觀と磊落な（そのくせ時々オヤツと意外に思ふ内氣な性格を見せる）愉快的なそして優しい性格の持主である。

中岡敏雄君。君は何故慶應に行かなかつたのかと思ふ程早稲田として又應化として特異な存在だ。身長5尺あるか無し學園中から恐らく彼と對等に肩を並べ得るものはあるまい。然も頭の上から靴の尖まで凡そスマートなシックなモダンアンでもある。左肩にイキな寫眞機をぶら下げて時折目をしよぼつかせながら颯爽と風を切る角帽のスマールマンは80%まで彼と思つて間違はない。さて實驗一非常な凝り性だ。特に裝置に於て然り。よし1日掛らうが2日掛らうがそんな事にはお構ひなし。實に見事な實驗裝置を作り上げる。そして實驗になるとつい他人の

も手傳ひたくなるらしい。時々消えたと思ふと向ふの机で盛んに實驗のお手傳ひだ。此の點凝り性の彼の面白い反面だ。秋の日の天氣を想へばよいだらう寫眞、スケート、音楽、喫茶等々勉強以外に中々の多趣味の持主である。

宗方千里君。君は明朗そのものだ。如何なる時にも凡そ憂鬱な顔を見せた事がない。而して彼は多彩なるスポーツマンである。剣道、乗馬、野球、登山は彼の最も得意とする所である。實驗室に於ける彼は誠に正確なる手腕を持ち面倒な事は自ら進んでやつて呉れる程の心構へを有する君の人格並びに將來は實に頼母しい。2年間連れ添つたパートナーとして感じた事は君は絶対に怒らぬ事と聲の大きな事とも一つボマードを惜しまぬ事だ。

野崎勝豊君。彼は應化3年隨一の若冠であつて(當年22歳誠に驚嘆すべきである)尚よく學問スポーツに秀でてゐる、スポーツも特にスケートを良くする之ひとへに彼の熱心と不屈の負けじ魂のする所と思ふ彼の時間厳守も我々の間に聞えたもので約束をたがへた事はなしと自他共に認めて居る。岡山の産であるが江戸ツツ子ようである。

乗松惣一郎君。彼と僕とは學院以來ずつと學校に於て又校外に於て常に行を共にして來た。彼は非常に正直且つ眞面目である。實驗に於ては非常にスピードが早く先へ先へと進むが然し結果に於ては?。彼は學者ではなく實際家である又非常に丈夫?であるが時々スケートで樂になつてゐるのを見掛けた彼の誰も知らぬ藝術を披露する。其れはラツパを吹くのが非常にうまい事である。之だけはクラスでも知つて居る人は非常に少ないであらう。最後に君の實社會に出て思ふ存分腕を振はれる日の早く來らん事を望む。

第2學年クラス狀況及び

ライオン石鹼見學記

去りし大學生活の第1年は、吾々に莫大な化學的知識を與へ今や第2年目に足を踏み入れて居ります。1年間1人の怪我人もなく進級出來たのはクラス一同の緊張もさり乍ら誠に嬉しい事と思ひます。

不幸休學中であつたクラスの賑やかな存在岡見君も健やかな體を見せて一同を安心させて呉れた。

扱て、2年になつて考へた事は、2年は中だるみの時期である。兩端の固定された糸の如く3年或ひは1年の緊張の弛むとき眞先にだれるのは2年ではないかと危懼しました。併し之は全く杞憂で、2年に

なつてからの一同の張り切り方は物凄く、運動にカメラに、或は語學にと會を作つての精進努力振りです。又最近はおト・レースを向へて、すさまじい張り切り方です。學業の方も小栗先生の興味ある有益な御指導に依然として遅くまで實驗室に頑張つて居る状態です。

この一同の張り切つてゐるときに見學したら大いに得る所があらうと5月28日午後山口先生に連れられてライオン石鹼平井工場見學と云ふ事になつた圓タクに分乘しスカルミの道を通つて工場に着く。應接室にて石鹼の意義、歴史、原料及び其の産地、製造法一通り承はる。此處で今やつてゐるのは硬化油、洗濯石鹼、グリセリンの製造の三つをやつて居るのださうで、行々は化粧石鹼の製造等もこちらへ移すとの事。未だこちらへ移つてから一月位にしかありませんので設備は不完全ですがと先に立つて案内して呉れた。

原料の溶解槽を眺め、醬油の油の利用法の一つとして之よりアルコールを採る工化雜誌の報文の實際化したのを説明して貰ひ(但し之は値段が引き合はず道樂的にやつてゐるとか)、又グリセリンの蒸溜装置、廢液より食鹽の回収装置、鹼化室、切斷型打室ボイラー室、研究室、試験室等見て廻つた。處々にて山口先生の實物に就いての懇切なる説明を承はつた。始めは洗濯石鹼の製造だけをお見せすると云はれたのであるが、硬化油は見せて貰へなかつたが、グリセリンの蒸溜装置は見せて貰ふ事が出來、色々なものを見學して、1年間山口先生より教へられたノートからの知識の上に更に目からの實際的知識を加へる事が出來誠に有意義なして最初の先生に伴はれての見學であつた。

見學後先生及び色々説明して下された人々を圍んで一同カメラに収まり解散した。(篠原記)

新入生歓迎試合、理工科ボート大會

我々2年となり、應化の中堅所となりまして、組一同張り切つて小林小栗兩先生を始めとし、諸先生の御指導のもとに頑張つて居ります。

さて、應用化學科年中行事の一つに數へられてゐる新入生歓迎試合が4月30日に行はれました。場所は今度は趣を變へまして、東伏見グランドを選びました。將に夏に移らんとする新緑の天地の中に、ソツと置かれたエメラルドグリーン草原で、日頃實驗室で耐へた體を思ふぞんぶん振り廻さうと、3年2年が先づ先に行き、第1回試合を行ひました。

當2年のメンバーは、投手はショートボールをもつては理工科に並ぶものなき植田君、捕手は強肩熊澤君、1壘は強打をもつて鳴る「人の山」浅野君、2壘は豪肩強打の東海林君、3壘は駿足にして、技は微に細を穿つ勝屋君、遊撃は人不足のため愚生が相つとめる事となり、この點が唯一の味増、さて外野を見渡すに、左翼手は強肩の設樂君、中堅は駿足太刀川君を据え、右翼の似鳥君は巧妙をもつて鳴る。一寸見ただけでもこの様な豪華な、陣營、將に鶴翼の陣とはこの事か。

3年の陣營と見るに、投手は百武兄、捕手は進藤兄をバッテリーとする強チーム。壘審は的場兄でいよいよ試合は正1時、華々しくその幕は切つて落されました。

當2年チームは、よくがんばり。植田君の好投により10割の打者も居るほどで13~2で大勝をしました。

續いて3年對1年の歓迎試合は、好戦をなし、シーソーゲームの結果、謙讓の美德を發揮せられ、1點の差で勝を1年の方に譲つて、歓迎の意を表されたのはげにげに武士の心情と感泣にむせぶばかりでありました。上級生はかくありたきものと感心致しました。

さて2年對1年の試合は第1回チャンスありしも點ならず、3回熊澤君の強打に愚生生還し兩軍最初の得點をなし、以後1-0とリードせしも、1年もさるもの、入江君等の好打により、1-1の同點となり引き分けとなりしも、更に延長戦を交へ、結局謙讓の美德の發揮により目出度く(?) 1-2にて1年の方々を勝を譲り、此處に昭和11年度新入生歓迎試合は終りました。歸途、東伏見驛前に正列して、西片兄の號により、日頃教練を練りしはこゝぞと、右へならへ、番號ツとやつた圖は都會人の見られぬ狀況で、驛員も早大生はさすがと、應化の名を恥しめぬ秩序整頓の下に高田馬場につけば日はや暮れ暮色蒼然たるものがありました。驛前の食堂にて全員一堂に會し、交歡の後解散致しました。

—。—

理工科年中行事の一つと數へられるボートレースは、建築科主催の下に5月30日、墨堤で行はれました。當2年よりは、彌次レースにその名も高きクロコンクルーとして一杯出場しました。蛇足でありますがクロコンとはクロム混液、人呼んでクロコンであります。

さて當日入梅とやらで霖雨シトシトと降り、午後

よりは風さへ交へて恰ら秋の末、木枯し野分といった感でありました。

午後1時よいよ我々は下記のメンバーにて出場致しました。

(舳)勝屋、(整調)植田、(5番)三橋、(4番)東海林(3番)熊澤、(2番)似鳥(1番)太刀川、敵は名にし負ふ電氣の「カワウソ」クルー、機械の3年、(之はオールを破損してレースに加はらず。)降りしきる疾雨の中に號砲一發、ガツクリ、オールはスタートされました。スタートするや見る見る敵を1艇身も離し、以後カーブで力漕、敵を抜くこと正に4艇身その内雨のため敵は霞んでその存在も分らぬほど離れ、もはやレースの興味は全く失はれてしまつたのは實に残念であつた。6艇身餘の大差にて敵を破り此處に2年連勝の榮を荷ひました。

3年1年の方々も一杯づつ一等になりました。

長たらしくくだくだつまらぬ事のみ書きたてた事を御詫び致します。(三橋記)

第1學年より

何時の間にか學院の3年を遊び終つて大學に入り應用化學會々員になりました。今迄と些の變りも無い我々も、角帽を頭に載せると急に偉くなつたやうであります。然し新入生の悲しさ、始めは皆目様子が判らず講義の教室を見つけるのに汗をかいたのは勿論便所を捜して應化の建物中歩き廻る醜態を演じた者もあつたとか、それでも此の頃はもう一人前の大學生になつて大きなノートを抱へて登校して居ります。殊に今年は中山、有地、佐々木の三君を夫々松山、學習院、六高から迎へ且つは電氣科卒業後再び本科に入られた中野氏布哇から遙々就學された鞍掛氏或は中華民國留學生鐘書勤女史等の新顔を加へ呑氣な學院の連中も緊張して勉強して居ります。然し初夏の氣候のためか或は勉強の夜更しの爲めか黑板が遠く霞んでノートの字が踊り出し削ひ廻るのを止められない勉強家も居る仕末であります。

實驗も學院の試験管を振り廻した定性分析とは違ひ先づ容器の洗滌の綿密なのに度膽を抜かれ、毎日クロム・ミクスチュアで靴や實驗衣を痛めました。宇野・石川兩先生の懇切な御指導に依つてメキメキと腕が上達して(?)今はピーカー、時計皿、坩堝等を割りながら盛んに分析をやつて居ります。

運動も盛んで各自自己の得意の運動をやつて居りますが殊に野球は盛んで新入生歓迎試合に軽く先輩諸軍を斥けた應化最強チームを第1軍として嘗つて

勝つた試しの無い無敵軍第4軍に到る迄全1年生が體の爲めとボールに親しんで居ります。ボートも與太レースに2艇出艇1艇は堂々1等他の艇も堂々3等に入賞應化のため萬丈の氣を吐きました。

以上1年生の近況であります、先日晝の工事休のとき工事場に入り新校舎の屋上迄登りましたが4階建の此の校舎は全く堂々たるもので規模の廣い事天井の高い事換氣の好きさうな事等々全く現在のバラックとは比較にならぬ充實振りで今年9月の移轉を楽しみに歸つて來ました。考へて見ますと此の校舎に新築落成の時から入つて最も長く利用出来る學生は我々1年生でありまして此の點我々は甚だ恵れた年に入學したものであります。然し又此の充實した設備の新校舎の中で充實しないのは内味の學生のみ等と言はれたのでは獨り我々の恥であるのみならず早大の應化を今日在らしめた諸教授諸先輩の努力を裏切る事になり我々の責任の甚だ大なるを痛感致して居ります。本年度1年生は皆此の事をよく自覺し先輩諸兄の築かれた基礎の上に立つてより高くより廣い新世界を拓かんと學問に健康に大いに努力して居る次第であります(VI.7)(井上)

イチネンセイニユウスイヨセアツメ

6月6日の例会——僕等にとつては最初の此の例会——には僕等1年生の意氣を示すか如く總勢11人と云ふ多數出席し宇野先生の御話を承りました。

毎週2回月、火曜の1日45人づつ宇野、石川兩先生と共に一緒に食事をしてゐます。現在まで6回行ひました先生と生徒と一つのテーブルをかこんで食事をする快談する——之は全く他の科に見とれない美しい風景だと思ひます。今後も續けて行き益々お互に親密の度を増して行きたいと思ひます。

(佐藤)

理工學部工業經營科分科應用化學科

授けられた總ての授業を習得し早稲田スピリットを眞に納得し潑刺たる希望にもへて學部に進み我等更科、南、野村、井比の4人は應用化學科に學ぶ事になつた。

豫想通り學院時代の生活とは異なつた生活であり自己の將來の爲又早大理工學部の爲に新たなる責任を痛感し大學生活の端を覗ふ事が出来る様になつた

我國化學工業の盛んなる今日又將來共に我國綜合工業の中心をなす化學工業界に活躍せんと應用化學科に學ぶ事を得たるは誠に光榮に思はれ衷心感謝し

てやまない次第である。

今日工業界を廣く見るに一般的事業經濟には

1. 資本、2. 經營者、3. 労働者、4. 需要者

の四つの要素に就て深い考慮と研究とが必要になつて來た。此等の四要素が有機的に調和し圓滑に運れてこそ初めて立派な工業が生れるものであると確信する。

技術者が工業經營の任に當る事は不適當なりと屢々云はれて來た事であるが其れは技術者が餘りに技術的に偏し過ぎたからで工業經濟の任に當る技術者は現に技術者としての考へなり又やり方等を一掃し一層工業界經濟界等各方面に眼界を廣める事に當るを要する事は當然の事にして工業經營に技術者入るべからずの制札は今日工業界より除去すべきものにして寧ろ技術者自身進んで工業經營方面を研究する必要があると思ふ。外國に於ては最早眞正の技術者は單に高等數學や物理學及専門の學問を修るのみでは不足し是れに經濟學管理法社會學心理學歴史等が加味せらるべきなりと之を重視して居る。

現にかうした制度を採用して居る學校も外國にはある由である。之は工業技術者は科學的の方面の訓練を受けたる上に更に事務的才能を加味して工學的訓練より經驗せる精確緻密なる明晰なる頭腦を以て廣く工業界のみならず複雑なる社會學的問題を解くに最適なりと云ふ事に基くもので實際に於ても社會はかゝる人材を要求して居る。應用化學を自己の専門として學ぶと共に之と平行して工業經營科の組織的學問を習得し我國工業界に活躍せんと大いに希望して居る次第である。幸ひ理解ある諸教授諸先輩の御指導に依り益々此の方面の研究に邁進し我が理工學部の名譽の爲我國工業界の爲渾身の努力をなす覺悟をもつて一同非常な希望に燃えて努力致して居ります。(11年6月7日、井比)

(5) 教室備付圖書

(昭和11年4月以後の分)

- | | |
|---------------|--|
| Böttger | Physikalische methoden der Analytischen Chemie. II Teil. |
| Brame & King | Fuel Solid, Liquid and Gasses |
| Ellis | The Chemistry of Synthetic Resins |
| | Vol. I & II |
| Cain & Thorpe | The Synthetic Dyestuffs and the Intermediate Products from which They are Derived. |
| Klar | Fabrikation von Absolutem Alkohol |

zwecks Verwendung als Zusatzmittel
zu Motor-Treibstoffen.

Organic Syntheses Vol. 15

" " 16

Mayer Chemie der Organischen Forstoffe
BD. I

橋谷義孝 酵母學

日本評論社 現代日本工業全集 第3, 7, 9, 3, 18,
19, 23, 25, 27.

吉川玉吉 化學機械の計算法

吉川玉吉 化學機械の理論と實際

化學工業時報社 化學機器圖集 第4編

宮道悦男 植物成分研究法

杉本俊三 合成樹脂

共立社 化學工業講座 第4回

共立社 實用製造化學叢書1—35, 37, 38, 40—45

(6) 特許公報の購入に就て

5月の役員會の御承認を得て早稲田應用化學會で特許公報を購入することになりました。本年5月からの分を圖書室に備へてありますから卒業生諸氏の御利用を御願ひ致します。(庶務委員)

(7) 住所及勤務先移動

(會報第27號異動報告以後の分)

水谷 策平 江戸川区小松川町2丁目55
近藤 次郎 神奈川縣中郡大野村中原
武田 裕雄 大阪市住吉區天神ノ森2丁目25
山本 泰司 横濱市中區西久保町 179
藤崎 四朗 東京市目黒區下目黒1丁目26
藤好 好美 東京市蒲田區羽田鈴木町 947
石田 資郎 東京市目黒區自由ヶ丘 204
石井 秀成 關西ペイント株式會社東京支店
東京市蒲田區六郷町 395 同社内
白井 泉 臺灣臺南州新營郡新營街 鹽水港製糖
株式會社 社宅
松田 健治 東京府北多摩郡砧村成城南 167
中田 祐夫 大阪市住吉區橋本町70
神谷 香一 杉並區井荻町2ノ 126
元木 秀一 豐島區長崎東町3丁目 499
高木暢太郎 杉並區高圓寺3丁目 231
後藤 勝三 兵庫縣西宮市中濱町27ノ 6

(阪神電鐵香櫨園驛下車)

(8) 應用化學教室新築

落成記念號發行豫告

各方面より多大の期待を持たれて居りました吾が應用化學科教室の新築工事は愈々8月下旬に落成の運びとなりました。目下内部の複雑な諸施設に懸命の努力が拂はれて居ります。堂々たる五層樓の内部は充分の教育設備を備へると同時に充分の各種研究室を具へ今後漸次設備の整備と相俟つて本邦化學工業界に多大の貢獻あるものと期待せられて居ります本會は近く臨時役員會開催の上之が記念の諸催しに關し協議致す豫定であります。就ては今秋10月發行の本會報を應用化學科教室新築落成記念號として増大號と致し度く存じます。會員諸氏の御研究、論說、資料、講義等を多數掲載致し度く各方面に寄贈致す豫定で御座います故今から御準備の上是非とも9月5日迄に多數御投稿あらんことを切望致す次第であります。

(9) 編輯室より

本文に記載しました通り今後は會報を定期的に年4回發行し、一層内容の充實をはかり度いと思ひます。本文記載の投稿規約に隨ひ奮つて御寄稿下さる様お願ひ致します。

別冊も出来るだけ内容を豊富にし、會員相互の親睦と連絡に資し度いと思ひます。次號よりはその編輯にも充分意を用ひ度いと思ひます。就ては會員皆様の御動靜の外、多くの御忠告と學界、工業界或は會社、工場内のトピック、ニュース、寫眞等もお送り下さる様お願ひ致します。又肩の凝らない隨筆等も歓迎致します。

猶ほ本號よりは本會記事の一部は本文に記載する事としました。